

広島市立広島市民病院 外来診療担当医表

平成19年10月1日現在

診療部門 1階

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
総合診療科	1診	荒木	井上	水野	山崎	河越
	2診	住吉	岡本	石原	中川	能祖
リウマチ・膠原病科	3診	山西	山西	—	山西	山西
	4診	小熊	小熊	—	小熊	小熊
整形外科	1診	奥原	大坪	西川	石田	曾田
	2診	西川	石田	田尻	曾田	大坪
	3診	高田	—	—	—	奥原
放射線科	午前	1診 影本	影本	伊東	伊東	影本
	午後	1診 伊東	影本	浦島	浦島	影本
皮膚科	午前	1診 伊東	影本	伊東	伊東	影本
	午後	2診 浦島	西原	西原	—	西原

診療部門 2階

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
外科	1診	高倉	二宮	大野	高倉	二宮
	2診	原野	小島	塩崎	西崎	青木
皮膚科	4診	—	江草	江草	江草	—
	5診	内藤	内藤(初診)	内藤	内藤(初診)	内藤
	6診	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診	中川	荒木	能祖	水野	荒木
	2診	白神	大江	岡本	植松	植木
	3診	—	—	岩堂	黒目	—
	4診	中園	高沢	山崎	—	山崎
	7診	野田	野田	—	—	野田
	8診	—	水木	志和	—	—
	9診	水木	河村	河村	水木	河村

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
呼吸器科	1診	安里	岩本	住吉	—	満田

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
呼吸器外科	1診	妹尾	—	松浦	片岡	妹尾

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
循環器科	1診	井上	嶋谷	河越	井上	丸橋
	2診	石原	栗栖	香川	嶋谷	中間

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
心血管外科	1診	柚木	大庭	—	久持	吉田

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
歯科	初診	中野	澤木	中野	佐藤	澤木
	午前	澤木	佐藤	澤木	澤木	中野
歯科口腔外科	再診	鄭	鄭	鄭	鄭	鄭
	午後	外来予約 インプラント外来 院内口腔ケア	外来予約 院内口腔ケア	外来予約 院内口腔ケア	外来予約 インプラント外来 院内口腔ケア	外来予約 院内口腔ケア

診療部門 3階

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
眼科	1診	原	—	原	原	—
	午前	2診 寺田	寺田	橋本	—	寺田
	3診	細川	細川	—	—	細川
	午後	4診 予約検査	手術	山根	山根	予約検査

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	初診	1診 井口	江草	綾田	野田	堀
	2診	綾田	堀(1:3-5週) 野田(2:4週)	江草※1	井口	綾田(2:4週) 江草(1:3-5週)
	再診	3診 野田	—	堀(2:4週午前中) 井口(2:4週)※2	—	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
形成外科	1診	身原	木村	荒川	身原	木村
	午前	2診	—	荒川	—	荒川
	3診	—	身原	—	—	西井
	午後	—	レーザー言語外来	義眼外来	レーザー	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
小児科 小児外科 新生児科	1診	伊豫田	岡崎	伊豫田	小川	伊豫田
	2診	小池	小川	藤原	小池	古川
	3診	鎌田	小池	鎌田	中川	木口
	4診	秋山	手術	今治	高田	手術
新生児	小林	中田	新田	林谷	野村	

診療部門 4階

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
産婦人科	1診	吉田	野間	吉田	伊藤	小坂
	2診	野間	伊藤	早田	依光	石田
	午後予約	—	検査	—	検査	辰本
	3診	小坂	辰本	清水	石田	香川
産科診察室	石田	早田	伊藤	野間	依光	依光
午後予約	香川	香川	辰本	早田	—	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
乳腺・内分泌外科	1診	檜垣	大谷	金	大谷	檜垣
2診	金	—	—	—	—	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
脳神経外科	予約1診	寺田	田邊	目黒	西野	廣常
	初再診2診	西野	目黒	廣常	寺田	田邊

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
泌尿器科	初診1診	荒巻	三枝	松本	別宮	江原
	再診2診	別宮	江原	荒巻	三枝	荒巻

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
神経内科	1診	好永	好永	神崎	神崎	神崎
	2診	田中	田中	田中	好永	長尾
	3診	土肥	長尾	長尾	土肥	土肥

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
精神神経科	4診	福本	岸本	和田	福本	和田
	5診	和田	福本	岸本	矢守	岸本
	6診	矢守	矢守	岩本	岩本	岩本

外来診療のご案内

診療受付時間
午前8時30分～午前11時00分
*〔眼科〕火曜日・木曜日 午前10時00分まで

休診日
土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日、年末年始(12月29日～1月3日)

紹介状持参のお願い
初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

基本理念

広島市の中核病院として、患者さまの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

～基本理念実現のための3つの柱～

1. 患者さまの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
2. 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
3. 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。

かがやき

医療支援センターの活動 2

「がん診療相談室」と「(生活・福祉)総合相談室」を紹介します。

がん診療相談室

平成18年8月「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、がんに関する専門の相談部門として平成19年4月に「がん診療相談室」が開設されました。患者さまやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みにお応えする相談窓口として、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーが担当しています。また、当院に受診されている患者さまやご家族の方だけでなく、広く地域の一般の方からのご相談にも応じています。内容により、医師、薬剤師、栄養士など医療スタッフと連携をとりながらお応えしています。開設して5か月が経ちましたが、相談件数は月を追うごとに増加しています。患者さまやご家族の体の痛みだけでなく、心の痛みや不安な気持ちをひしひしと感じています。8月に広島で開催された、がん患者大集会に参加しました。皆様のご意見を伺い、心と体の痛みをやわらげるために、患者さま、ご家族、医療者が理解しあい、よりよい関係づくりが大切だと感じました。がんに関する悩みごとや心配ごとがありましたら、一緒に考えていきたいと思ひます。お一人で悩まず、ご遠慮なくご相談ください。

(生活・福祉)総合相談室

(生活・福祉)総合相談室は、患者さまやご家族がより安心して療養生活を送ることができるように、医療ソーシャルワーカー2名(社会福祉士、精神保健福祉士)が、さまざまな相談に応じています。当院における療養生活において、経済的な問題、療養中の仕事や家族のこと、病状や生活の変化に伴う不安などについて、相談者一人一人の状況にあわせて、さまざまな福祉制度や保険制度の利用について説明を行っています。また、必要に応じて関係行政窓口との連絡調整や協働、精神的な支援も含め、患者さまが納得のいく生活を送ることができるように、できる限りの支援を行うよう努めています。そして、患者さまと同じ目線に立って問題を考え、解決していきたいと考えています。ご心配なことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



(生活・福祉)相談室スタッフ

たとえばこのようなご相談に応じています。

- 抗がん剤にはどのような副作用がありますか?
- セカンドオピニオンについて教えてください。
- 主治医にききたいことがあるが言えずに悩んでいます。
- 緩和ケアのある病院を教えてください。

相談受付時間

9:00から16:00
〔土曜、日曜、祝日、8月6日、12月29日から1月3日までを除きます。〕

相談場所

東棟1階 医療支援センター内

相談方法

- ① 電話相談 直通 082-221-1351
代表 082-221-2291 (内線 2377)
- ② 来院による面接相談

たとえばこのようなご相談に応じています。

- 入院費用や生活費が心配なのですが?
- 身体障害者手帳の申請方法は?
- 休職や退職後の生活はどうなるの?
- その他家庭や生活上の問題など

相談受付時間

8:30から16:30
〔土曜、日曜、祝日、8月6日、12月29日から1月3日までを除きます。〕

相談場所

西棟1階 (生活・福祉)総合相談室

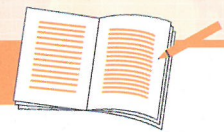
相談方法

- ① 電話相談 代表 082-221-2291
(内線 2370、2371)
- ② 来院による面接相談

診療科レポート 東棟3F

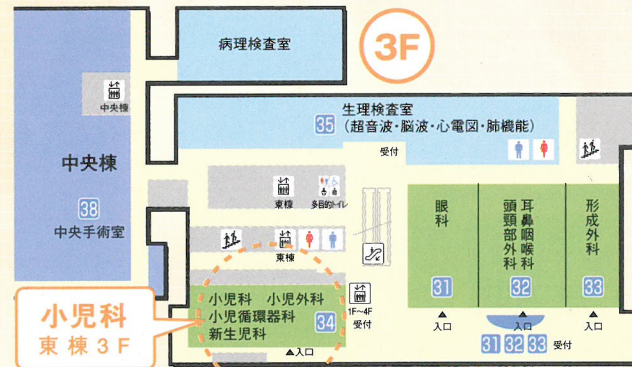
小児科

新生児から若年成人に至るまで、未来をつくる子どもたちの身体と心を育み、守るための医療を心がけています。



子どもは大人を小さくしたものではありません。常に発育と発達を続け、日々成長しています。小児科は子どもを対象としたいろいろな専門領域が集まった科ですが、内科と異なる点は、子どもを成長し続ける一人の人間として考え、専門領域に偏らない診療を行っている点です。

当院小児科では、それぞれの専門診療科(新生児科、小児循環器科、小児外科)や子どもに関わる他の診療科と常に協力・連携しながら、子どもたちの健やかな発育を守るお手伝いをさせていただいています。



くに神経疾患(熱性けいれん、小児てんかんや発達障害など)の診療では、小児神経専門医4名を配し、神経診断機器(脳波検査約2,000件/年、神経画像検査約300件/年など)を用いた、きめ細やかで高度な診療を行っています。

地域の基幹小児科として

当院小児科は、日本小児科学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会などの研修診療科に認定されています。地域の小児医療の中核として幅広い診療と専門医療を融合させ、今後も子どもたちの健やかな発育とそのご家族を守るためのよきパートナーを目指していきます。



小児科病棟プレイルーム



小児科スタッフ 後列左から 関本医員、小池医員、古川医員、小川副部長
前列左から 伊予田主任部長、岡崎病院長、村尾部長

幅広い診療範囲

生まれたての新生児から成人に至るまで、感染症をはじめとして神経疾患、循環器疾患、アレルギー・内分泌疾患など多種多様な疾患の子どもたちが来院します。1か月の外来平均患者数は約2,000名、年間では2万人にのぼります。また、年間約2,000名の子どもたちの入院治療を行っています。子どもは病状が刻々と変化します。診療はすべて予約制で行っていますが、急病や救急搬送などの緊急を要する場合には、予約にかかわらず、できる限り対応するようにしています。

また子どもの健やかな発育のために充実した乳児健診(低出生体重児や成熟児など)、各種予防接種の実施と相談ならびに発達に心配のある子どもたちへの発達健診も積極的に行っています。

充実した専門診療

東棟3F外来34ブース(図参照)には小児に関わる専門診療科(小児科、小児循環器科、新生児科、小児外科)が集まっており、それぞれの専門医による専門診療がスムーズに行われています。

小児科は、感染症、神経、内分泌、アレルギー・免疫、腎臓・消化器疾患など幅広く診療を行っています。

ましごと 拝見! WORK

●部門紹介● 看護部 シリーズ9

人工腎臓センター看護師の取り組みを紹介します。

当院の人工腎臓センターには、約80名の患者さまが通院されています。透析を受けられる患者さまは、水分・塩分・蛋白質などの食事制限や運動の制限がありますが、皆さま一生懸命がんばっておられます。

患者さまがよりよい闘病生活を送られるように支援することが、看護師の大きな役割です。当センターでは、看護師が中心となり、医師、薬剤師、栄養士が協力して「いきいき通信」を発行し、患者さまとの交流を深めています。例えば、「に

いきいき通信



ぎり鮭にはどれ位水分が含まれているか」について、写真入りで分かりやすく説明するなど、生活に密着した情報提供をしています。また、「透析導入からどのように生活をし、病気を乗り越えたか」など、患者さまの体験記を載せたりしています。

今回、患者さまの作品展を行いました。作品は本当にすばらしく、「すごいですね。」と声をかけると、患者さまの顔もぱっと輝いて笑顔が生まれます。こうした笑顔の交流は、患者さま、看護師のお互いの励みにつながっています。

患者さまの作品展



患者さまの声:

「周りから誉められてもとても嬉しかったです。」
「皆さんの作品に感激し、励みになりました。」

看護師の声:

「楽しく見させていただきました。」
「芸達者な患者さまの作品に驚きました。」
「日頃見えない患者さまの姿が見えて良かったです。」
「これからも継続して企画します。」

臨床検査部

シリーズ 2

採血したあとの血液や尿はどこに運ばれるのでしょうか。



◆ 臨床検査室

臨床検査室には、血液の他に、髄液・腹水・胸水などの体液類、体から排出される尿、便など種々な材料(検体と呼びます)が運ばれてきます。その数は平均して一日約千人分、2,500~3,000本になりますが、検査室ではこれらの検体を使って約300種類の検査を行なっています。この検体検査を行なうのは、25名の臨床検査技師です。事務職員を含めると、総勢30名のスタッフが精密な機械やコンピューターシステムを駆使して24時間体制で検査を行っています。

臨床検査室のなかには、検体の種類によって大きく3部門に分かれています。

◆ [血液・凝固検査部門]

血液中の成分である、赤血球・白血球・血小板などの数を測定したり、白血球の種類を顕微鏡で検査しています。これらの検査で貧血の度合いや、細菌感染の有無、出血の止まり易さなどがわかります。

出血時間の検査など、患者様に検査室に来ていただいで行なう検査もあります。



血液・凝固検査部門

◆ [生化学・免疫検査部門]

主に、血液中の血清と呼ばれる上澄み液のなかに含まれている成分を、測定している部署です。

成人病の指標とされている、血糖や、コレステロール、肝炎で目が黄色くなった時に高い値を示すビリルビン、腎炎の指標となる尿素窒素や、クレアチニンなど、3部門の中で、一番多くの項目を検査しています。



生化学・免疫検査部門

◆ [一般検査(尿・便他)部門]

尿に蛋白や糖が出ていないか、便中の潜血や、寄生虫などを検査しています。

尿検査のある患者さまの受付やコップの受け渡しもしています。



一般検査(尿・便他)部門

臨床検査部は迅速で安全かつ精度の高い検査を提供します。